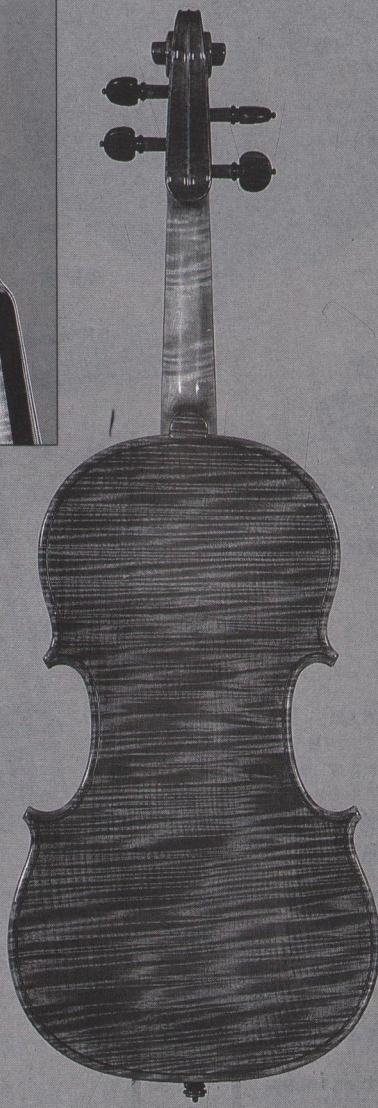
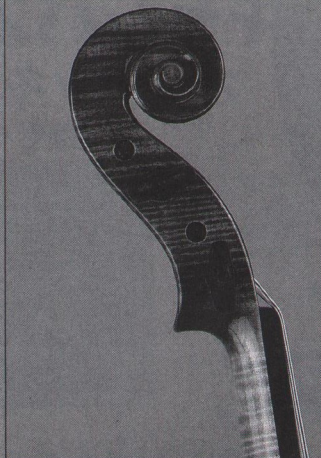


クレモナの現代製作家

シリーズ

クレモナは、17世紀に栄華を極めたヴァイオリン製作の中心地で、現在も当時さながらに優秀な製作家達を輩出している。その現代クレモナを代表する製作家を紹介するシリーズ。

第6回 シメオネ・モラッシー



Simeone Morassi

■1966年 クレモナ生まれ。クレモナのみならず、現代イタリアの代表的ヴァイオリン製作家であるGio Batta Morassiを父に持つ。1984年クレモナ市立ヴァイオリン製作学校卒業。1985年以降、意欲的に国内外の製作コンクールに出品し、上位入選を果たす。

師であり父であるGio Battaのモデルを継承しながら独自の技術、感性を作品に注ぎ込む。彼の楽器には美しく透明な赤褐色のニスで丹念に塗られ、使用される材料はすべて最高級のものだ。現在、欧米はもちろん日本、台湾など世界各国からの注文に対応している。

ウーディネ音楽院ヴィオラ科卒業の経歴を持つ。写真の楽器は、ヴァイオリン、1991年製。